

大学等設置等に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び 施設等整備状況調査結果について（令和7年度）

1. 調査の目的

本調査は、大学等の設置等が認可された学校法人に対し、その健全な経営の確保に必要な指導、助言を行うため、「学校法人の寄附行為及び寄附行為の変更の認可に関する審査基準（平成19年文部科学省告示第41号）」に基づき、大学等設置等に係る寄附行為（変更）認可時の附帯事項等が確実に履行されているかを確認し、併せて学校法人の経営の実態及び施設等の整備の進捗状況を把握することを目的としている。

2. 調査の方法・内容

調査方法は、大学設置・学校法人審議会学校法人分科会が、原則として、開設年度に入学した学生が卒業する年度（完成年度）までの間、認可を受けた者に対して書類調査を実施し、必要に応じて、面接調査又は実地調査により行っている。

調査内容は、①認可以降の意見等の履行状況、②施設・設備の年次計画の実施状況、③経営の実態（役員の就任状況などの管理運営面、資産・収支状況などの財政面）について行っている。

3. 令和7年度調査結果の概要

調査対象学校法人は全117法人であり、今回の調査の結果、指摘が付された学校法人は106法人であった（表1及び別添参照）。なお、具体的な指摘の例（延べ法人数）は以下のとおり。

- 資産総額変更登記・代表権登記の遅延により、法令の規定に抵触しているもの（法令違反：32法人）
- 財務書類等の備置きの遅延により、法令の規定に抵触しているもの（法令違反：23法人）
- 理事又は評議員が寄附行為に定める数に対して欠員（選任条項上の欠員も含む）となっているため、是正を求めるもの（是正：1法人）
- 理事会・評議員会について、法令又は寄附行為に基づいた運営がなされていないため、開催順序等の是正を求めるもの（是正：9法人）
- 監事監査において教学監査を実施していないため、大学等での充実した教育研究の観点から監査に関する計画の是正を求めるもの（是正：1法人）
- 入学定員の未充足（0.5倍以下）の学科について、健全な法人経営の観点から収容定員の変更の見直しなどの早急な是正を求めるもの（是正：34法人）（※）
- 入学定員の未充足（0.5倍超～0.7倍未満）の学科について、健全な法人経営の観点から改善を求めるもの（改善：36法人）（※）
- 経常的な収支が継続してマイナス（赤字）となっていることから、収支の改善を図り、経営基盤の安定を求めるもの（改善：35法人）

（※）新設学科だけではなく、既設の学科も対象

(表 1)

調査対象学校法人		1 1 7 法人
指摘が付された学校法人		1 0 6 法人
	法令違反	4 5 法人
	是正	4 6 法人
	改善	1 0 1 法人

(注) 同一法人に各区分の指摘事項が付された場合にはそれぞれで計上。

4. 履行状況報告書の情報公開等

大学等設置等に係る寄附行為(変更)認可後の財政状況及び施設等整備計画の履行状況等を記載した報告書(以下、「履行状況報告書」という)を、学校法人として積極的に公開することが期待される。なお、設置認可と認証評価の有機的な連携の一助として、各認証評価機関に対しても、本調査の結果を参考送付する。

参 考

1. 用語の定義

種 類	定 義
附 帯 事 項	認可を受けた者が計画を履行するに当たって遵守すべき事項及び充実することが望まれる事項
指摘事項（法令違反）	法令に抵触すると認められる事項があり、学校法人に必要な措置をとることを求める事項
指摘事項（是 正）	管理運営上著しく不適切と認められる事項があり、学校法人に早急な是正を求める事項
指摘事項（改 善）	寄附行為に基づいた運営がなされていない場合や、設置計画に基づいた整備がなされていないと認められる事項があり、学校法人に改善を求める事項。（認可時の附帯事項及び指摘事項について、引き続き改善を求める場合を含む。）

2. 関係法令等

○学校法人の寄附行為及び寄附行為の変更の認可に関する審査基準

（平成19年文部科学省告示第41号）（抄）

第6 その他

- 3 文部科学大臣は、第1から第5までの規定に基づく認可に係る計画及び附帯事項の履行の状況及び学校法人の経営の実態を確認するため必要があると認めるときは、書類、実地等による調査を実施するものとする。

主な事例の指摘対象法人一覧

○代表的な指摘事項及び指摘法人について

(1) 登記等の遅延等

①資産総額変更登記・代表権登記の遅延, 財務書類等の備置きの遅延

①-1 資産総額変更登記の遅延 (組合等登記令第三条)

法人名	
【法令違反】 5法人	赤門学院 赤門宏志学院 大阪信愛女学院 神山学園 ミスパリ学園

①-2 代表権登記の遅延 (組合等登記令第二条)

法人名	
【法令違反】 27法人	赤門学院 赤門宏志学院 植草学園 大阪信愛女学院 大原学園 OCC
	鎌倉女子大学 巨樹の会 金城学院 光華女子学園 国際医療福祉大学 越原学園
	信州豊南学園 椋山女学園 長聖 東北医科薬科大学 土佐リハ学院 新潟青陵学園
	日本歯科大学 佛教教育学園 文理学園 平成医療学園 別府大学 北陸学院
	ミスパリ学園 横浜商科大学 和洋学園

①-3 財務書類等の備置きの遅延 (旧私立学校法第四十七条)

法人名	
【法令違反】 23法人	朝日大学 大阪信愛女学院 帯広大谷学園 OCC 菊武学園 巨樹の会
	金城学園 光華女子学園 國學院大學 神野学園 創志学園 高崎健康福祉大学
	天理大学 東海大学 東京医科大学 土佐リハ学院 新潟総合学園 日本財団ドワンゴ学園
	ノートルダム清心学園 東筑紫学園 深堀学園 桃山学院 和洋学園

(2) 理事会・評議員会の運営等

①寄附行為に定める数に対して理事・評議員の欠員 (選任条項上の欠員も含む) があるため, 是正を求めるもの

法人名	
【是正】 1法人	東京医科大学

②理事会・評議員会について, 法令又は寄附行為に基づいた運営がなされていないため, 開催順序等の是正を求めるもの

法人名	
【是正】 9法人	赤門宏志学院 大阪信愛女学院 大原学園 OCC 神山学園 京都女子学園
	東海大学 東筑紫学園 横浜商科大学

(3) 教学監査の未実施

①監事監査において教学監査を実施していないため, 大学等での充実した教育研究の観点から監査に関する計画の是正を求めるもの。

法人名	
【是正】 1法人	筑波学園

主な事例の指摘対象法人一覧

(4) 入学定員未充足 (※新設学科だけではなく既設の学科も対象としている。)

①入学定員の未充足(0.5倍以下)の学科等について、健全な法人経営の観点から定員変更を含めた速やかな是正を求めるもの

【是正】 34法人		法人名					
		藍野大学	植草学園	大阪信愛女学院	大原学園	加計学園	金沢学院大学
		菊武学園	金城学院	光華女子学園	樟蔭学園	尚綱学園	湘南ふれあい学園
		信州豊南学園	椛山女学園	滝川学園	長聖	津曲学園	天理大学
		日本医療大学	日本歯科大学	東筑紫学園	深堀学園	福島学院	佛教教育学園
		文京学院	文理学園	平成医療学園	北陸学院	北陸大学	国際ビジネス学院
		青洲学園	園田学園	豊田学園	本山学園		

②入学定員の未充足(0.5倍超～0.7倍未満)の学科等について、健全な法人経営の観点から改善を求めるもの

【改善】 36法人		法人名					
		愛知淑徳学園	藍野大学	植草学園	追手門学院	加計学園	金沢学院大学
		鎌倉女子大学	菊武学園	北里研究所	巨樹の会	近畿大学	金城学院
		金城学園	光華女子学園	國學院大學	越原学園	樟蔭学園	尚綱学園
		常翔学園	椛山女学園	創志学園	天理大学	新潟科学技術学園	日本歯科大学
		ノートルダム清心学園	東筑紫学園	福島学院	福原学園	佛教教育学園	文京学院
		別府大学	北陸学院	松山大学	ミスパリ学園	和洋学園	響和会

(5) 経常的な収支がマイナス

①経常的な収支が継続してマイナス(赤字)となっていることから、収支の改善を図り、経営基盤の安定を求めるもの

【改善】 35法人		法人名					
		赤門宏志学院	植草学園	加計学園	鎌倉女子大学	巨樹の会	金城学院
		金城学園	光華女子学園	越原学園	樟蔭学園	尚綱学園	湘南ふれあい学園
		神野学園	滝川学園	筑波学園	新潟科学技術学園	新潟青陵学園	ノートルダム清心学園
		廣池学園	弘前城東学園	福島学院	文京学院	北陸学院	北陸大学
		北海道武蔵女子学園	和洋学園	高野山学園	佐久学園	富澤学園	奈良学園
		新潟総合学院	柏専学院	東日本学園	福岡女学院	松本学園	

令和7年度大学等設置等に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査意見

調査対象 117法人

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
1	愛知淑徳学園	R6	研究科増設	愛知淑徳大学大学院	健康栄養科学研究科(M)			・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（繰越収支差額構成比率）【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。（愛知淑徳大学健康科学部食創造科学科）【改善】
2	藍野大学	R6	研究科増設	藍野大学大学院	健康科学研究科(M)		・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。（藍野大学医学部保健学部健康科学科、びわこリハビリテーション専門職大学リハビリテーション学部言語聴覚療法学科）【是正】	・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（経常収支差額構成比率）【改善】 ・負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り組むこと。（改善） ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。（藍野大学医学部保健学部臨床工学科、びわこリハビリテーション専門職大学リハビリテーション学部作業療法学科）【改善】
3	赤門学院	R5	組織変更（専門職大学新設）	電動モビリティシステム専門職大学	電気自動車システム工学部	・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。（R6年度資産総額の変更登記、代表権登記）【法令違反】	・前回に引き続き、学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、令和6年度及び令和7年度の設置計画の変更について、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。（是正）	
4	赤門宏志学院	R7	短大の学科増設	仙台赤門短期大学	鍼灸手技療法学科	・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。（R6年度資産総額の変更登記、代表権登記）【法令違反】	・理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。（理事会及び評議員会の開催順序（R6年度補正予算、R5年度決算、R7年度当初予算））【是正】	・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続しており、かつ繰越収支差額比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（改善）
5	朝日大学	R7	学部の学科増設	朝日大学	保健医療学部救急救命学科	・財務書類等の備置きが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。【法令違反】		・経常収入に対する教育研究経費が同系統の学校法人に比べ低く、かつ近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上に取り組むこと。（改善）
6	植草学園	R7	学部増設	植草学園大学	看護学部	・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。（代表権登記）【法令違反】	・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。（植草学園大学看護学部看護学科）【是正】	・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続しており、かつ繰越収支差額比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（改善） ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。（植草学園大学発達教育学部発達支援教育学科）【改善】 ・植草学園大学看護学部における学生確保の取組について、より効果的な広報活動や奨学金制度の拡充、地域密着型の教育体制や地域共創センターを活用したキャリア支援などの現在計画している取組を計画どおり実施した上で、当該取組による効果を分析し、当該分析結果を踏まえた計画の不断の見直しを行うこと。（改善） ・大幅な定員未充足が生じていることから、大幅な定員未充足が生じた場合の対応方針（リスクシナリオ）について、現在進めている経営改善計画を着実に実施し、実施した方策の効果の分析を更に先行し、分析結果を踏まえた財務計画の不断の見直しを行うこと。（改善）
7	追手門学院	R5 R7	学部増設 学部増設	追手門学院大学 追手門学院大学	法学部 理工学部			・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。（追手門学院大学理工学部電気電子工学科）【改善】
8	大阪医科薬科大学	R3 R3	学部増設 研究科増設	大阪医科薬科大学 大阪医科薬科大学大学院	薬学部 薬学研究科（M.D.）			・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（繰越収支差額構成比率）【改善】 ・負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り組むこと。（改善）
9	大阪経済大学	R6	学部増設	大阪経済大学	国際共創学部			・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（繰越収支差額構成比率）【改善】
10	大阪歯科大学	R6	学部増設	大阪歯科大学	看護学部			・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（経常収支差額比率、繰越収支差額構成比率）【改善】
11	大阪信愛学院	R4	大学新設	大阪信愛学院大学	教育学部、看護学部	・前回に引き続き、登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。（R6年度資産総額の変更登記、代表権登記）【法令違反】 ・財務書類等の備置きが3か年連続で遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。【法令違反】	・理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。（理事会及び評議員会の開催順序（R6年度補正予算、中期計画の策定））【是正】 ・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。（大阪信愛学院大学教育学部教育学科）【是正】 ・学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。（是正） ・現在策定している経営改善計画を着実に実行するとともに、定員未充足の状態が今後も継続した場合を想定し、学生納付金収入以外の収入増加及び教育研究環境を保持した上で支出削減策についても検討を進めること。また、大幅な定員未充足が継続した場合の対応方針（リスクシナリオ）について、どのような場合にどのような方策をとっていくのか等の具体的なあるリスクシナリオを作成すること。（是正）	・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（繰越収支差額構成比率）【改善】 ・負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り組むこと。（改善） ・理事長のリーダーシップの下、法人を構成する教職員が現状を十分に認識した上で、法人内の設置校全体での連携した取組や卒業生の協力を得ての広報活動などに取組み、複数のアプローチにより持続的かつ安定な学生確保が可能となるように努めること。（改善）
12	大阪成蹊学園	R5	学部増設	大阪成蹊大学	看護学部、データサイエンス学部			

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
13	大妻学院	R7	学部増設	大妻女子大学	データサイエンス学部			・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り込むこと。(経常収支変動比率)【改善】 ・新入生及びその保護者に対する寄附金の募集について、学生募集要項や寄附金の募集趣意書等に任意であることを明記すること。【改善】
14	大原学園	R7	大学新設	東京経営大学	経営学部	・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。(代表権登記)【法令違反】	・理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。【理事会及び評議員会の開催順序(R6年度監事の監査報告)】【是正】 ・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り込むこと。(東京経営大学経営学部経営マネジメント学科(通称教育課程))【是正】	・法人全体として新設組織の定員未充足による支出超過を補うことができる状況下においても、新設組織としての収支均衡を実現できるよう、定員未充足の要因の分析結果や、これまで実施した個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析するとともに、検証結果を踏まえて法人の学生募集に係る戦略を明確化させ、当該戦略に基づく具体的な計画を策定・実行すること。【改善】
15	帯広大谷学園	R5	短大の学科増設	帯広大谷短期大学	看護学科	・財務書類等の備置が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。【法令違反】	・学生募集の停止により、在籍する学生がいない組織については、廃止等の措置を講ずること。(帯広大谷短期大学地域教育学科)【是正】	・令和6年度中に開催された評議員会の出席率が低いことから、評議員会の出席率を増やすよう努めること。【改善】 ・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り込むこと。(経常収支変動比率)【改善】 ・負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り込むこと。【改善】
16	OCC	R7	大学院大学新設	教育テック大学院大学	教育情報・経営リーダーシップ研究科(P)	・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。(代表権登記)【法令違反】	・理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。【理事会及び評議員会の開催順序(R5年度決算)】【是正】	・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り込むこと。(繰越収支変動構成比率)【改善】 ・負債償還率の平均が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債の減少に取り込むこと。【改善】
17	加計学園	R6 R7	研究科増設 通信教育課程設置 学部の学科増設	岡山理科大学大学院 岡山理科大学 岡山理科大学	獣医学研究科(M,D) 通信教育部情報理工学部 生命科学部医療技術学科		・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り込むこと。(岡山理科大学理学部化学科、工学部応用化学科、教育学部初等教育学科、千歳科学大学薬学部薬学科、危機管理学部動物危機管理学科、看護学部看護学科)【是正】	・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続しており、かつ繰越収支変動比率及び繰越収支変動構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り込むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り込むこと。(岡山理科大学理学部物理学科、工学部電気電子システム学科、生命科学部医療技術学科、教育学部中等教育学科、倉敷芸術科学大学生命科学部環境生命科学科、千歳科学大学危機管理学部保健医療学科、航空技術危機管理学科)【改善】 ・赤字となっている収益事業について、引き続き適切な運営を行い、その収益を私立学校の経営に充てられるよう改善に取り込むこと。【改善】
18	金沢学院大学	R6	学部増設	金沢学院大学	情報工学部		・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り込むこと。(金沢学院大学情報工学部情報工学科)【是正】	・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り込むこと。(繰越収支変動構成比率)【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り込むこと。(金沢学院短期大学食物栄養学科、幼児教育学科)【改善】 ・教学監査を含め、今後の監査に関する計画(監査項目や実施体制等)を作成し、計画どおり着実に実行すること。【改善】 ・金沢学院大学情報工学部における学生確保の取組について、総合校との協働性の確保により分析した新設組織の強みを効果的に開拓するほか、高校連携による認知度向上などのオープンキャンパス等への参加を促すために現在計画している取組を計画通り実施すること。また、当該取組による効果を分析し、学生確保の取組の不断の見直しを行うこと。【改善】
19	鎌倉女子大学	R7	通信教育課程設置	鎌倉女子大学短期大学部	初等教育学科(通信教育課程)	・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。(代表権登記)【法令違反】		・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続しており、かつ繰越収支変動構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り込むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り込むこと。(鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科)【改善】
20	神山学園	R5	法人新設(高等専門学校新設)	神山まるごと高等専門学校	デザイン・エンジニアリング学科	・前回に引き続き、登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。(R6年度資産総額の変更登記)【法令違反】	・理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。【理事会及び評議員会の開催順序(R5年度決算)】【是正】	・令和6年度中に開催された評議員会の出席率が低いことから、評議員会の出席率を増やすよう努めること。【改善】
21	関西医科大学	R3 R7	学部増設 研究科増設	関西医科大学 関西医科大学大学院	リハビリテーション学部 生涯健康科学研究所(M)			・赤字となっている収益事業について、引き続き適切な運営を行い、その収益を私立学校の経営に充てられるよう改善に取り込むこと。【改善】
22	菊武学園	R3 R7	学部の学科増設 通信教育課程設置	名古屋産業大学 名古屋産業大学	現代ビジネス学部経営専門職学科 現代ビジネス学部現代ビジネス学科(通信教育課程)	・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。【法令違反】	・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り込むこと。(名古屋産業大学現代ビジネス学部経営専門職学科)【是正】	・経常収入に対する教育研究経費が同系統の学校法人に比べ低く、かつ近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り込むこと。(名古屋経営短期大学子ども学科)【改善】
23	北里研究所	R5 R6	学部増設 研究科増設	北里大学 北里大学大学院	未来工学部 未来工学研究科(M)		・理事に選任事項上の超過が見受けられることから、速やかに改めること。【是正】	・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り込むこと。(経常収支変動比率、流動比率、繰越収支変動構成比率)【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り込むこと。(北里大学健康科学部看護学科、医療検査学科)【改善】

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
24	京都女子学園	R5	学部増設	京都女子大学	データサイエンス学部		・理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。【理事会及び評議員会の開催順序（R6年度当初予定）】【是正】 ・理事会及び評議員会の運営に関し、理事及び評議員は書面での意思表示をもって議決に加わることができることについて寄附行為に規定しているにも関わらず、意思表示をするための委任状を作成していないことから、今後は寄附行為に定める方法に基づき、理事会及び評議員会を適切に運営すること。【是正】	・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【経営収支差額比率】【改善】
25	京都橘学園	R6	研究科増設	京都橘大学大学院	情報学研究科(M)			・経常収入に対する教育研究経費が同系統の学校法人に比べ低く、かつ近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上に取り組むこと。【改善】
26	巨樹の会	R4 R7	組織変更（大学新設） 大学院新設	令和健康科学大学 令和健康科学大学大学院	看護学部、リハビリテーション学部 健康科学研究科(M)	・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。【代表権登記】【法令違反】 ・財務書類等の備置きが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。【法令違反】	・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続しており、かつ経常収支差額比率及び繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。（令和健康科学大学リハビリテーション学部作業療法学科）【改善】 ・赤字となっている収益事業について、引き続き適切な運営を行い、その収益を私立学校の経営に充てられるよう改善に取り組むこと。【改善】 ・教学監査については、理事会及び評議員会への出席及び内部監査の報告にとどまらず、監査計画に監査項目や実施体制等を盛り込んだ上で実施する等、より一層の充実に努めること。【改善】 ・利益相反取引については、原則として理事会の事前承認を要することや特別の利害関係を有する理事は議決に加わることができないことを改めて認識し、より慎重かつ深い議論が行えるよう、更なる外部理事の選任を検討すること。【改善】	
27	近畿大学	R7	通信教育課程設置	近畿大学	建築学部建築学科（通信教育課程）			・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。（近畿大学九州短期大学教育科）【改善】
28	金城学院	R4 R4	学部増設 研究科増設	金城学院大学 金城学院大学大学院	看護学部 薬学研究科(D)	・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。【代表権登記】【法令違反】 ・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。（金城学院大学文学部外国語コミュニケーション学科、人間科学部コミュニティ福祉学科）【是正】	・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続しており、かつ経常収支差額比率及び繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・経常収入に対する教育研究経費が同系統の学校法人に比べ低く、かつ近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上に取り組むこと。【改善】	・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。（金城学院大学文学部英語英米文化学科、音楽芸術学科）【改善】
29	金城学園	R6	学部増設	金城大学	総合経済学部	・財務書類等の備置きが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。【法令違反】	・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続しており、かつ繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】	・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。（金城大学人間科学部子ども教育保育学科）【改善】
30	久留米大学	R6	学部の学科増設	久留米大学	医学部医療検査学科		・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（経常収支差額比率、繰越収支差額構成比率）【改善】 ・教学監査については、監査計画に監査項目や実施体制等を盛り込んだ上で実施する等、充実に努めること。【改善】	
31	光華女子学園	R6	短大の学科増設	京都光華女子大学短期大学部	歯科衛生学科	・前回に引き続き、登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。【代表権登記】【法令違反】 ・前年に引き続き、財務書類等の備置きが2か年連続で遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。【法令違反】	・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続しており、かつ経常収支差額比率及び繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り組むこと。【改善】	・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。（京都光華女子大学キャリア形成学部キャリア形成学科、健康科学部心理学科、こども教育学部こども教育学科）【改善】
32	國學院大學	R4	学部増設	國學院大學	観光まちづくり学部	・財務書類等の備置きが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。【法令違反】	・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。（國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科）【改善】	
33	国際医療福祉大学	H29	学部増設	国際医療福祉大学	医学部	・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。【代表権登記】【法令違反】	・教学監査を含め、今後の監査に関する計画（監査項目や実施体制等）を作成し、計画どおり実行すること。【改善】	
34	越前学園	R4	学部増設	名古屋薬大学	医療科学部	・前回に引き続き、登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。【代表権登記】【法令違反】	・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続しており、かつ経常収支差額比率及び繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】	・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。（名古屋薬大学医療科学部作業療法学科、児童教育学部児童教育学科）【改善】

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
35	樟信学園	R7	学部の学科増設	大阪樟蔭女子大学	学芸学部リベラルアーツ学科		<p>・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、収容定員の見直しを検討するなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。(大阪樟蔭女子大学学芸学部リベラルアーツ学科、国際英語学科、児童教育学部児童教育学科)【是正】</p>	<p>・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続しており、かつ経常収支差額比率及び繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】</p> <p>・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。(大阪樟蔭女子大学学芸学部ライフプランニング学科、健康栄養学部健康栄養学科)【改善】</p> <p>・各校との比較分析を不断に行い、新設組織の強みを明確にした上で、教育内容や取得可能な資格等が高校生や進路指導教員等に十分に理解されるような広報活動を行うこと。例えば、申請時に新設組織における学生募集の取組として計画していた高校訪問や協定校での出前授業等について、目的を明確にし、実施回数を増やす等、過去の取組実績を踏まえながら戦略的に計画・実行すること。【改善】</p> <p>・大幅な定員未充足が生じた場合の対応方針(リスクシナリオ)について、現在の定員充足状況が継続した場合をシミュレーションし、どのような場合にどのような方策を実施していくかについて十分に検討すること。また、当該シミュレーションを踏まえ、法人全体の収入の増加と支出の削減方策の効果を更に分析した上で、当該分析を踏まえた短期的・中期的な財務計画を立案・実行するとともに、学生確保の状況に応じて当該計画の見直しを機動的に実施できる態勢を整えること。【改善】</p>
36	尚綱学園	R5	学部増設	尚綱大学	こども教育学部		<p>・定員充足率が極めて低いことから、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。(尚綱大学こども教育学部こども教育学科、尚綱大学短期大学部総合生活学科)【是正】</p> <p>・大幅な定員未充足が生じた場合の対応方針(リスクシナリオ)について、収入が均衡する学生の数(損益分岐点)を算出した上で、収入の増加と支出の削減方策の効果を更に分析すること。また、策定した財務の中期計画を着実に実行するとともに、法人全体の学生確保の状況に応じて当該計画の見直しを図ること。【是正】</p>	<p>・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続しており、かつ経常収支差額比率及び繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】</p> <p>・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。(尚綱大学現代文化学部文化コミュニケーション学科、尚綱大学短期大学部食物栄養学科、幼児教育学科)【改善】</p> <p>・学生確保の取組について、定員未充足の要因の分析結果やこれまで実施した個々の取組の効果等の検証結果を踏まえ、法人の学生募集に係る戦略を明確化させ、当該戦略に基づく各取組の目標(実施回数、参加者数等)を具体的に設定し、各取組を着実に実行すること。【改善】</p>
37	湘南ふれあい学園	R3	学部増設	湘南医療大学	薬学部		<p>・定員充足率が極めて低いことから、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。(湘南医療大学薬学部医地薬学科)【是正】</p>	<p>・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続しており、かつ繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】</p> <p>・経常収入に対する教育研究経費が同系統の学校法人に比べ低く、かつ近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に取り組むこと。【改善】</p> <p>・学生確保の取組について、引き続き、定員未充足の分析結果やこれまで実施した個々の取組の効果等の検証結果を踏まえて、法人の学生募集に係る戦略及び当該戦略に基づく具体的な計画について不断の見直しを行い、着実に実行すること。【改善】</p>
38	信州豊南学園	R6	法人新設(設置者変更)	信州豊南短期大学	言語コミュニケーション学科、幼児教育学科	<p>・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。(代表権委託)【法令違反】</p> <p>・過去の調査において、整備済みとされていた規程について、実態には法人内で所定の承認手続を経していないことから、着実に整備を行うこと。(特定個人情報等の取扱に関する規程)【是正】</p> <p>・理事会及び評議員会の議事録について、密着行為に定める方法による署名が適切に実施されていないことから、今後は法令及び密着行為の規定に基づき、所定の手続を行うこと。【法令違反】</p>	<p>・監事監査について、特に以下の点に留意し、体制の強化に努めること。【改善】</p> <p>(1)教学監査を含め、今後の監査に関する計画(監査項目や実施時期等)を作成し、計画どおり着実に実行すること。</p> <p>(2)監事が非常勤であること等を踏まえ、監事の職務を支援するための職員や内部監査組織等を整備し、監事の連携を図ることにより、より有効性のある監査体制の構築に努めること。</p> <p>・学生確保の取組について、定員未充足の要因の分析結果や、これまで実施した個々の取組の効果等の検証結果を踏まえて、法人の学生募集に係る戦略を明確化させ、当該戦略に基づく具体的な計画を策定し、実行すること。例えば、現在十分に実施できていないといわれる国内の学生や留学生に向けたSNS等を活用した積極的な広報活動や高大連携を見えた高校訪問等、各取組での目的と対象を明確にした上で、計画・実行すること。【改善】</p> <p>・定員未充足が継続していることにより、学校法人の財務への影響が大きくなっていることを踏まえ、経営改善に向けた早急な対策が求められることから、大幅な定員未充足が生じた場合の対応方針(リスクシナリオ)について、法人全体の収入の増加と支出の削減の方策の効果を更に分析した上で、それらを踏まえた短期的・中期的な財務計画を立案し、着実に実行すること。また、学生確保の状況に応じて、当該計画の見直しを機動的に実施できる態勢を整えること。【改善】</p>	
39	滋慶学園	R5	組織変更(専門職大学新設)	東京情報デザイン専門職大学	情報デザイン学部		<p>・学生進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。【是正】</p>	<p>・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。(繰越収支差額構成比率)【改善】</p>
40	順天堂	R5 R6 R6 R7	学部増設 研究科増設 学部増設 研究科増設 研究科増設	順天堂大学 順天堂大学大学院 順天堂大学 順天堂大学大学院 順天堂大学大学院	健康データサイエンス学部 保健医療学研究科(M) 薬学部 国際教養学研究科(M) 健康データサイエンス研究科(M.D)		<p>・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。(経常収支差額比率、繰越収支差額構成比率)【改善】</p>	
41	常翔学園	R5 R6	学部増設 研究科増設	摂南大学 摂南大学大学院	現代社会学部 農学研究科(M.D)		<p>・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。(広島国際大学健康科学部社会学科、心理学科)【改善】</p>	

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
42	神野学園	R2	学部増設	岐阜医療科学大学	薬学部	・財務書類等の備置きが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにすること。【法令違反】	・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。（岐阜女子大学人間関係学部人間共生学科）【是正】	・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続しており、かつ繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・監事監査について、特に以下の点に留意し、体制の強化に努めること。【改善】 (1) 教学監査を含め、今後の監査に関する計画（監査項目や実施体制等）を作成し、計画どおり着実に実行すること。 (2) 連絡地に所在する設置校があることから、監事の職務を支援するための職員の配置や内部監査組織等を整備し、監事との連携を図ることにより、より実効性のある監査体制の構築に努めること。
43	福山学園	R6	学部増設	福山女子大学	情報社会学部	・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにすること。（代表権登記）【法令違反】	・定員充足率が極めて低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。（福山女子大学外国語学部英語英米学科、国際教養学科、情報社会学部現代社会学科）【改善】	・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（繰越収支差額構成比率、繰越収支差額構成比率）【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。（福山女子大学外国語学部英語英米学科、国際教養学科、情報社会学部現代社会学科）【改善】
44	創志学園	R7	大学院新設	環太平洋大学大学院	スポーツ科学研究科(M)	・財務書類等の備置きが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにすること。【法令違反】	・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。（環太平洋大学国際関係学部人間共生学科）【是正】	・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（繰越収支差額構成比率）【改善】 ・負債償還率の平均が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債の減少に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。（環太平洋大学経済経営学部現代経営学科、次世代教育学部こども発達学科）【改善】
45	高木学園	R3 R6 R7	大学の学部の設置者変更 学部の学科増設 大学院新設	福岡国際医療福祉大学 福岡国際医療福祉大学 福岡国際医療福祉大学大学院	看護学部 医療学部診療放射線学科 保健医療学研究科(M)			
46	高崎健康福祉大学	R4	研究科増設	高崎健康福祉大学大学院	農学研究科(M,D)	・財務書類等の備置きが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにすること。【法令違反】	・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。（名古屋文理大学短期大学部食物栄養学科）【是正】	・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（繰越収支差額構成比率）【改善】 ・経常収入に対する教育研究経費が同系統の学校法人に比べ低く、かつ近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上に取り組むこと。【改善】 ・教学監査を含め、今後の監査に関する計画（監査項目や実施体制等）を作成し、計画どおり着実に実行すること。【改善】
47	滝川学園	R7	大学院新設	名古屋文理大学大学院	健康情報学研究科(M)	・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにすること。（代表権登記）【法令違反】	・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。（名古屋文理大学短期大学部食物栄養学科）【是正】	・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続しており、かつ繰越収支差額比率及び繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】
48	長聖	R6	短大の学科増設	長野短期大学	幼児教育学科	・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにすること。（代表権登記）【法令違反】	・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。（長野短期大学幼児教育学科）【是正】	・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（繰越収支差額構成比率）【改善】 ・策定した中、長期財政計画を着実に実施するとともに、長野短期大学幼児教育学科の次年度の定員充足率が改善しなかった場合も想定した上で、実態に沿った計画となるように、引き続き財務計画の見直しを不断に行うこと。【改善】 ・長野短期大学幼児教育学科の学生確保の取組について、総合校における学生募集状況も低下傾向にあることから、これまで以上に総合校の学生募集状況や、入試動向、受験対象者のニーズを踏まえた学生募集に係る戦略を明確化させ、当該戦略に基づく各取組の目標（実施回数、参加者数等）を具体的に設定し、各取組を着実に実行すること。【改善】
49	筑波学園	R4	組織変更（専門職大学新設）	アール医療専門職大学	リハビリテーション学部	・監事監査において教学監査を実施していないことから、今後の監査に関する計画（監査項目及び実施体制等）を改めること。【是正】 ・学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。【是正】	・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・経常収入に対する教育研究経費が同系統の学校法人に比べ低く、かつ近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上に取り組むこと。【改善】 ・監事監査について、監事が非常勤であること等を踏まえ、監事の職務を支援するための職員の配置や内部監査組織等を整備し、監事、会計監査人、内部監査室がそれぞれの役割を十分に認識した上で連携を図ることにより、より実効性のある監事体制の構築に努めること。【改善】 ・改正私立学校法の施行を踏まえ、法人全体としてガバナンス強化やコンプライアンスを推進する取組を実施し、適切な法人運営を行うこと。【改善】 ・調査における必要書類に不備があったことから、引き続き事務職員としての資質を向上させるための取組を実施する等、事務処理を適切に行うための事務体制の充実に努めること。【改善】	・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・経常収入に対する教育研究経費が同系統の学校法人に比べ低く、かつ近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上に取り組むこと。【改善】 ・監事監査について、監事が非常勤であること等を踏まえ、監事の職務を支援するための職員の配置や内部監査組織等を整備し、監事、会計監査人、内部監査室がそれぞれの役割を十分に認識した上で連携を図ることにより、より実効性のある監事体制の構築に努めること。【改善】 ・改正私立学校法の施行を踏まえ、法人全体としてガバナンス強化やコンプライアンスを推進する取組を実施し、適切な法人運営を行うこと。【改善】 ・調査における必要書類に不備があったことから、引き続き事務職員としての資質を向上させるための取組を実施する等、事務処理を適切に行うための事務体制の充実に努めること。【改善】
50	津由学園	R5	学部増設	鹿児島国際大学	看護学部	・財務書類等の備置きが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにすること。【法令違反】	・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。（鹿児島国際大学国際文化学部音楽学科）【是正】	・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（繰越収支差額構成比率、繰越収支差額構成比率）【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。（鹿児島国際大学国際文化学部音楽学科、国際学部中国語学科、外国語学科）【是正】
51	天理大学	R5	大学の学部の設置者変更	天理大学	医療学部	・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにすること。【法令違反】	・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。（天理大学文学部国文学部国語学科、国際学部中国語学科、外国語学科）【是正】	・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（繰越収支差額構成比率、繰越収支差額構成比率）【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。（天理大学文学部国語学科、歴史文化学科、社会教育学科、社会福祉学科、国際学部韓国・朝鮮語学科、英米語学科、日本学科）【改善】 ・教学監査を含め、今後の監査に関する計画（監査項目や実施体制等）を作成し、計画どおり着実に実行すること。【改善】
52	東海大学	R4	学部増設	東海大学	児童教育学部	・財務書類等の備置きが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにすること。【法令違反】	・理事及び評議員会の運営に關し、以下の事項について適切に行うこと。【理事及び評議員会の開催順序（R5年度決算）】 【是正】	

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
53	東京医科大学	R7	研究科増設	東京医科大学大学院	看護学研究科(M)	・財務書類等の備置きが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。【法令違反】	・理事が選任事項上の欠員となっていることから、速やかに補充すること。【是正】	・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り組むこと。【改善】
54	東北医科薬科大学	H28 R5	学部増設 研究科増設	東北医科薬科大学 東北医科薬科大学大学院	医学部 医学研究科(D)	・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。(代表権登記)【法令違反】		・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。(経常収支比率、繰越収支差額構成比率)【改善】
55	土佐リハ学院	R6	組織変更(大学新設)	高知健康科学大学	健康科学部	・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。(代表権登記)【法令違反】		・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。(経常収支比率)【改善】
56	新潟科学技術学園	R5	学部増設	新潟薬科大学	医療技術学部、看護学部			・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続しており、かつ繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。(新潟薬科大学薬学部薬学科、応用生命科学部応用生命科学科)【改善】
57	新潟青陵学園	R5	学部の学科増設	新潟青陵大学	福祉心理子ども学部子ども発達学科	・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。(代表権登記)【法令違反】		・令和6年度中に開催された評議員会の出席率が低いことから、評議員会の出席率を増やすよう努めること。【改善】 ・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続しており、かつ繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】
58	新潟総合学園	R6	学部の学科増設	新潟医療福祉大学	心理・福祉学部心理健康学科	・財務書類等の備置きが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。【法令違反】		・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。(繰越収支差額構成比率)【改善】
59	日本医療大学	R3 R4 R4 R5 R6	学部の学科増設 学部増設 学部の学科増設 通信教育課程設置 大学院新設	日本医療大学 日本医療大学 日本医療大学 日本医療大学 日本医療大学大学院	保健医療学部臨床検査学科 総合福祉学部 保健医療学部臨床工学科 通信教育部総合福祉学部ソーシャルワーク学科 保健医療学研究科(M)		・定員充足率が極めて低いことから、収容定員の見直しを検討するなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。(日本医療大学保健医療学部臨床工学科、総合福祉学部介護福祉マネジメント学科、ソーシャルワーク学科)【是正】 ・申請時に想定していた以上の大幅な定員未充足が生じていることから、大幅な定員未充足が生じた場合の対応方針(リスクシナリオ)について、現在の定員充足状況が継続した場合の法人全体及び大学単体でのシミュレーションを行うこと。また、当該シミュレーションに基づき、経営改善のための具体的な対応策及び財務計画を策定し、当該計画を着実に実行すること。【是正】 ・新設組織の定員未充足が継続することによる、改組のための設置認可申請や私立大学等経費補助金等の法人全体に与える影響を十分に認識した上で、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。【是正】	・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。(繰越収支差額構成比率)【改善】 ・学生確保の取組について、定員未充足の要因の分析結果やこれまで実施した個々の取組の効果を検証し継続的に行った上で、特に改組を行う総合福祉学部においては、改組の内容に関する効果的な広報活動を行うなど、法人の学生募集に係る戦略の更なる明確化を図り、当該戦略に基づく具体的な計画を新たに策定し、着実に実行すること。【改善】
60	日本財団ドワンゴ学園	R7	法人新設(大学新設)	ZEN大学	知能情報社会学部	・財務書類等の備置きが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。【法令違反】		
61	日本歯科大学	R7	短大の学科増設	日本歯科大学新潟短期大学	歯科技工学科	・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。(代表権登記)【法令違反】	・定員充足率が極めて低いことから、収容定員の見直しを検討するなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。(日本歯科大学新潟短期大学歯科技工学科)【是正】	・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。(経常収支比率、繰越収支差額構成比率)【改善】 ・経常収入に対する教育研究経費が同系統の学校法人に比べ低く、かつ近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。(日本歯科大学新潟生命歯学部生命歯学科、日本歯科大学東京短期大学歯科技工学科)【改善】 ・日本歯科大学新潟短期大学歯科技工学科における学生確保の取組について、過去の実績を踏まえて取組毎の目標値を明確化した実施計画を策定し、当該実施計画を着実に実施するとともに、個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、学生確保の取組の改善を機動的に行える態勢を整えること。【改善】 ・大幅な定員未充足が生じた場合の対応方針(リスクシナリオ)について、新設組織及び法人全体としての収入増加と支出の削減に関する方策の効果を十分に分析した上で、中長期的な財務計画を立案するとともに、当該計画を着実に実行すること。【改善】
62	ノートルダム清心学園	R6 R6	学部増設 学部増設	ノートルダム清心女子大学 ノートルダム清心女子大学	国際文化学部 情報デザイン学部	・財務書類等の備置きが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。【法令違反】		・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続しており、かつ経常収支比率及び繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。(ノートルダム清心女子大学文学部英語英文学科、国際文化学部国際文化学科、情報デザイン学部情報デザイン学科)【改善】
63	東筑業学園	R7	学部増設	九州栄養福祉大学	こども教育学部	・財務書類等の備置きが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。【法令違反】	・理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。【理事会及び評議員会の開催順序(R7年度補正予算)】【是正】	・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。(繰越収支差額構成比率)【改善】 ・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。(九州栄養福祉大学食物栄養学部食環境データサイエンス学科)【是正】
64	兵庫医科大学	R4 R4 R4 R4	学部増設 学部増設 学部増設 研究科増設	兵庫医科大学 兵庫医科大学 兵庫医科大学 兵庫医科大学大学院	看護学部 リハビリテーション学部 薬学部 薬学研究科(D)			・負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り組むこと。【改善】

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項			
						法令違反	是正	改善	
65	廣池学園	R6	学部増設	麗澤大学	工学部			<ul style="list-style-type: none"> 法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続しており、かつ繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組みこと。【改善】 ・教学監査については、監査計画に監査項目や実施体制等を盛り込んだ上で実施する等、充実に努めること。【改善】 	
66	弘前城東学園	R6	大学院新設	弘前医療福祉大学大学院	地域健康支援学研究所(M)			<ul style="list-style-type: none"> 法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続しており、かつ繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組みこと。【改善】 	
67	深堀学園	R5	組織変更(専門職大学新設)	グローバルBiz専門職大学	グローバルビジネス学部	<ul style="list-style-type: none"> ・財務書類等の備置きが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。【法令違反】 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が極めて低いことから、収容定員の見直しを検討するなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。(グローバルBiz専門職大学グローバルビジネス学部グローバルビジネス学科)【是正】 ・大幅な定員未充足が生じていることから、法人全体及び専門職大学単体での財務状況を十分に分析した上で、大幅な定員未充足が生じた場合の対応方針(リスクシナリオ)について、現在の定員充足状況が継続した場合のシミュレーションを踏まえた、経営改善のための具体性のある方策を作成すること。また、当該シミュレーションに基づいた財務計画を立案し、着実に実行すること。【是正】 	<ul style="list-style-type: none"> ・経常収入に対する教育研究経費が同系統の学校法人に比べ低く、かつ近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に取り組むこと。【改善】 ・定員未充足の要因について、一つの要因のみならず、これまで実施した学生確保の個々の取組と入学者数との関連や他校の学生募集状況、受験対象者のニーズ等を十分に調査・分析し、当該分析結果を踏まえ、法人の学生募集に係る戦略を明確化させ、当該戦略に基づく具体的な計画を新たに策定し、実行すること。【改善】 	
68	福島学院	R5	学部増設	福島学院大学	マネジメント学部			<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が極めて低いことから、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。(福島学院大学マネジメント学部地域マネジメント学科、福島学院大学短期大学部食物栄養学科)【是正】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。(福島学院大学短期大学部保育学科)【改善】 ・学生確保の取組について、定員未充足の分析結果やこれまで実施した個々の取組の効果等の検証を引き続き行い、検証結果を踏まえ、法人の学生募集に係る戦略及び当該戦略に基づく具体的な計画について不断の見直しを行い、着実に実行すること。【改善】 ・大幅な定員未充足が生じていることから、大幅な定員未充足が生じた場合の対応方針(リスクシナリオ)について、現在計画している収入増加及び支出削減の方策を着実に実施し、実施した方策の効果の分析を更に行い、分析結果を踏まえた計画の不断の見直しを行うこと。【改善】 	<ul style="list-style-type: none"> 法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続しており、かつ繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】
69	福原学園	R5 R6 R6	学部の学科増設 学部の学科増設 大学院新設	九州女子大学 九州共立大学 九州女子大学大学院	人間科学部児童・幼児教育学科 スポーツ学部こどもスポーツ教育学科 人間科学研究科(M)			<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。(九州女子大学家政学部生活デザイン学科、九州女子短期大学子ども健康学科)【改善】 	
70	佛教教育学園	R7	学部増設	京都華頂大学	日本文化学部	<ul style="list-style-type: none"> ・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。(代表権登記)【法令違反】 	<ul style="list-style-type: none"> ・未整備の規程を整備すること。(情報公開に関する規程)【是正】 ・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。(京都華頂大学現代生活学部生活情報学科)【是正】 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。(佛教大学文学部中国学科、京都華頂大学現代生活学部こども生活学科、食物栄養学科、日本文化学部日本文化学科、華頂短期大学幼児教育学科)【改善】 	
71	文京学院	R6	研究科増設	文京学院大学大学院	福祉医療マネジメント研究科(P)			<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。(文京学院大学人間学部人間福祉学科)【是正】 	<ul style="list-style-type: none"> 法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続しており、かつ繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。(文京学院大学人間学部児童発達学科)【改善】
72	文理学園	R5	学部増設	日本文理大学	保健医療学部	<ul style="list-style-type: none"> ・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。(代表権登記)【法令違反】 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。(日本文理大学工学部航空宇宙工学科)【是正】 	<ul style="list-style-type: none"> ・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。(経常収支差額比率)【改善】 	
73	平成医療学園	R4 R6	学部の学科増設 学部増設	宝塚医療大学 宝塚医療大学	和歌山保健医療学部看護学科 観光学部	<ul style="list-style-type: none"> ・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。(代表権登記)【法令違反】 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が極めて低いことから、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。(宝塚医療大学保健医療学部口腔保健学科、観光学部観光学科)【是正】 ・大幅な定員未充足が生じた場合の対応方針(リスクシナリオ)について、新設組織のみならず、法人全体としての収入の増加と支出の削減に関する方策の効果を更なる分析し、当該分析を十分行った上で中長期的な財務計画を立案するとともに、当該計画を着実に実行すること。【是正】 	<ul style="list-style-type: none"> ・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。(経常収支差額比率、流動比率、繰越収支差額構成比率)【改善】 ・負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り組むこと。【改善】 ・学生確保の取組について、定員未充足の要因の分析結果やこれまで実施した個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、ターゲットを明確化するともに、キャリアパスの提示や募集地域の拡大も視野に入れた学生募集活動を行うなど、法人の学生募集に係る戦略の改訂を回り、当該戦略に基づく具体的な計画を策定した上で、着実に実行すること。【改善】 ・主として医療系の学部・学科を有する宝塚医療大学に観光学部を置くことの意味について、学生募集のためのPR活動において、より効果的に周知を図るほか、募集地域ごとの戦略を策定し、当該戦略に基づいて自治体や地域の経済界等と連携した募集活動を行うなど、持続的な学生確保が可能となるよう努めること。【改善】 	
74	別府大学	R7	学部増設	別府大学	看護学部	<ul style="list-style-type: none"> ・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。(代表権登記)【法令違反】 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。(別府大学食物栄養学部発酵食品学科)【改善】 		

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
75	北社学園	R6	大学新設	仙台青葉学院大学	看護学部、リハビリテーション学部			
76	北陸学院	R5	学部増設	北陸学院大学	健康科学部		<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が極めて低いことから、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。（北陸学院大学教育学部幼児教育学科、初等中等教育学科、社会学部社会学科）【是正】 ・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続しており、かつ経常収支差額比率、繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。（北陸学院大学健康科学部栄養学科）【改善】 ・学生確保の取組について、定員未充足の要因の分析結果や、これまで実施した個々の取組の効果等の検証結果を踏まえて、法人の学生募集に係る戦略を明確化させ、当該戦略に基づいた具体的な計画を速やかに策定し、理事長を始めとする学校法人の構成員が果たすべき役割を十分に認識した上で、適切に連携しながら計画を実行すること。【改善】 	
77	北陸大学	R5 R7	学部の学科増設 大学院新設	北陸大学 北陸大学大学院	医療保健学部理学療法学科 医療保健学研究科(M)		<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。（北陸大学経済経営学部経済学科）【是正】 ・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続しており、かつ経常収支差額比率及び繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 	
78	北海道武蔵女子学園	R6	大学新設	北海道武蔵女子大学	経営学部			<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続しており、かつ繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】
79	松山大学	R7	学部増設	松山大学	情報学部			<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。（松山大学薬学部医療薬学科、松山短期大学商科第2部）【改善】
80	ミスバリ学園	R5	組織変更（専門職大学新設）	ビューティ&ウェルネス専門職大学	ビューティ&ウェルネス学部	<ul style="list-style-type: none"> ・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。（R6年度資産総額の変更登記、代表権登記）【法令違反】 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。（ビューティ&ウェルネス専門職大学ビューティ&ウェルネス学部ビューティ&ウェルネス学科）【改善】 	
81	明治学院	R6	学部増設	明治学院大学	情報数理学部			
82	桃山学院	R7	学部増設	桃山学院大学	人間教育学部	<ul style="list-style-type: none"> ・財務書類等の備置きが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。【法令違反】 		<ul style="list-style-type: none"> ・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（繰越収支差額構成比率）【改善】
83	安田学園	R7	学部増設	安田女子大学	理工学部			
84	佑愛学園	R6	大学新設	愛知医療学院大学	リハビリテーション学部			<ul style="list-style-type: none"> ・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（経常収支差額比率、繰越収支差額構成比率）【改善】
85	横浜商科大学	R7	大学院新設	横浜商科大学大学院	商学研究科(M)	<ul style="list-style-type: none"> ・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。（代表権登記）【法令違反】 	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。【理事会及び評議員会の開催順序（R6年度決算、R6年度監事の監督報告）】【是正】 	<ul style="list-style-type: none"> ・教学を含め、監事の監督に当たっては、理事会や評議員会への出席にとどまらず、より実質的な監督が実施できるように努めること。【改善】
86	和洋学園	R6	研究科増設	和洋女子大学大学院	看護学研究科(M)	<ul style="list-style-type: none"> ・登記が遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。（代表権登記）【法令違反】 ・財務書類等の備置きが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。【法令違反】 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続しており、かつ経常収支差額比率及び繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。（和洋女子大学国際学部英語コミュニケーション学科、国際学科、家政学部家政福祉学科、服飾造形学科）【改善】 ・理事会及び評議員会の委任状の様式について、議案ごとに意見表示するかは任意となっており、白紙委任状にもなり得る様式となっていることから、その内容を改めること。【改善】 	
87	大阪滋慶学園	R3	学部増設	滋慶医療科学大学	医療科学部			<ul style="list-style-type: none"> ・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（経常収支差額比率、繰越収支差額構成比率）【改善】

NO.	学校法人名	開設 年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
88	大手前学園	R5	研究科増設	大手前大学学院	国際看護学研究所 (M)			・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。(繰越収支差額構成比率)【改善】
89	耀和会	R3	組織変更(専門職大学新設)	和歌山リハビリテーション専門職大学	健康科学部			・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。(繰越収支差額構成比率)【改善】 ・定員充足率が低いことから、今後の定員充足の在り方について検討し、その改善に取り組むこと。(和歌山リハビリテーション専門職大学健康科学部リハビリテーション学科)【改善】
90	研伸学園	R5	大学院新設	一宮研伸大学大学院	看護学研究科(M)			
91	高野山学園	R3	学部の学科増設	高野山大学	文学部教育学科			・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続しており、かつ繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】
92	国際ビジネス学院	R3	組織変更(専門職大学新設)	かなざわ食マネジメント専門職大学	フードサービスマネジメント学部 フードサービスマネジメント学科			・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。(かなざわ食マネジメント専門職大学フードサービスマネジメント学部フードサービスマネジメント学科)【是正】
93	佐久学園	R3	学部増設	佐久大学	人間福祉学部			・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続しており、かつ流動比率及び繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・経常収入に対する教育研究経費が同系統の学校法人に比べ低く、かつ近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上に取り組むこと。【改善】
94	松蔭学園	R5	研究科増設	松蔭大学大学院	看護学研究科 (M)			・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。(経常収支差額比率、繰越収支差額構成比率)【改善】
95	昌興学園	R3	学部増設	群馬医療福祉大学	医療技術学部			・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。(繰越収支差額構成比率)【改善】 ・経常収入に対する教育研究経費が同系統の学校法人に比べ低く、かつ近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上に取り組むこと。【改善】
96	城西大学	R5	研究科増設	城西国際大学大学院	健康科学研究科(M)			・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。(経常収支差額比率)【改善】
97	青淵学園	R3	学部の学科増設	東都大学	福祉ヒューマンケア学部臨床工学科			・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。(東都大学福祉ヒューマンケア学部臨床工学科)【是正】 ・経常収入に対する教育研究経費が同系統の学校法人に比べ低く、かつ近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上に取り組むこと。【改善】
98	園田学園	R3	学部増設	園田学園大学	経営学部			・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。(園田学園大学経営学部ビジネス学科)【是正】 ・負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少に取り組むこと。【改善】
99	都築学園	R3	大学院新設	第一薬科大学大学院	薬学研究科 (D)			
100	東京国際大学	R3	学部増設	東京国際大学	医療健康学部			・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。(繰越収支差額構成比率)【改善】
101	徳洲会	R4	大学院新設	湘南鎌倉医療大学大学院	看護学研究科 (M,D)			
102	高澤学園	R3	学部の学科増設	東北文教大学	人間科学部人間関係学科			・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続しており、かつ繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】
103	豊田学園	R3	学部増設	岐阜保健大学	リハビリテーション学部			・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。(岐阜保健大学リハビリテーション学部作業療法学科)【是正】 ・学生生徒等納付金に対する教育活動支出の割合が同系統の学校法人の平均値に比べ低いことから、学生生徒等納付金の学生への還元に取り組むこと。【改善】
104	中西学園	R5	研究科増設	名古屋学芸大学大学院	看護学研究科(M)			

NO.	学校法人名	開設 年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
105	奈良学園	R5	研究科増設	奈良学園大学大学院	リハビリテーション学研究所(M)			・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続しており、かつ繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】
106	新潟総合学院	R3	学部増設	開志専門職大学	アニメ・マンガ学部			・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続しており、かつ繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】
107	西大和学園	R3	学部増設	大和大学	社会学部			・学生生徒等納付金に対する教育活動支出の割合が同系統の学校法人の平均値に比べ低いことから、学生生徒等納付金の学生への還元に取り組むこと。【改善】
108	日本教育財団	R3 R3	専門職大学新設 専門職大学新設	名古屋国際工科専門職大学 大阪国際工科専門職大学	工科学部 工科学部			・学生生徒等納付金に対する教育活動支出の割合が同系統の学校法人の平均値に比べ低いことから、学生生徒等納付金の学生への還元に取り組むこと。【改善】
109	柏専学院	R3	通信教育課程設置	新潟産業大学	経済学部経済経営学科（通信教育課程）			・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続しており、かつ繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】
110	東日本学園	R5	研究科増設	北海道医療大学大学院	医療技術科学研究所(M)			・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続しており、かつ繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】
111	福岡女学院	R5	大学院新設	福岡女学院看護大学大学院	看護学研究所(M)			・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続しており、かつ繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】
112	松本学園	R3	大学新設	松本看護大学	看護学部			・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続しており、かつ繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、収支均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。【改善】 ・経常収入に対する教育研究経費が同系統の学校法人に比べ低く、かつ近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上に取り組むこと。【改善】
113	宮崎学園	R5	大学院新設	宮崎国際大学大学院	国際教養研究所(M)			・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（経常収支差額比率、繰越収支差額構成比率）【改善】
114	吉田学園	R5	大学院新設	札幌保健医療大学大学院	保健医療学研究所(M)			・財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（経常収支差額比率、繰越収支差額構成比率）【改善】
115	立教学院	R5	研究科増設	立教大学大学院	スポーツウエルネス学研究所(M,D)			
116	立正大学学園	R3	学部増設	立正大学	データサイエンス学部			
117	本山学園	R2	組織変更（専門職大学新設）	岡山医療専門職大学	健康科学部		・定員充足率が極めて低いことから、学生確保の個々の取組と入学者数との関連を十分に調査・分析し、必要に応じて収容定員を見直すなど、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。（岡山医療専門職大学健康科学部作業療法学科）【是正】	